

「徳島すぎ」の家 II !

3月29、30日、「ひおきの家づくり協議会」で「徳島すぎの家」を研修に行きました。

時間の関係で、海部林材協同組合、TSウッドハウス協同組合、(協)スーパーウッディシステムの3社を訪ねました。それぞれの会社の取組についてご紹介します。

海部林材(協)……木材は自然乾燥か中・低温乾燥が主体で木は割れたり反るのが当たり前(板という漢字は木が反ると書く)という事を利用者に理解してもらった上で、住宅の契約をするということでした。

敷地内には「徳島すぎの家体験宿泊所(モデルハウス)」を構え、木造の住まいを体験する機会を提供していました。この体験宿泊所は会員9組合の特色を活かした木造りの住宅で希望者は低価格で一泊の体験宿泊ができます。5年前に建築して以来、およそ300家族が体験宿泊をしており、中にはそれぞれの季節での木造住宅の良さを体感しようと何度も宿泊される方もあるそうです。設計事務所も併設されており、さまざまな説明や、相談も受けているそうです。

TSウッドハウス(協)……県南部の樹齢70年以上の木頭すぎを「切り旬」(9月～3月)を守り、約3ヶ月の葉枯らしした材を25,000円/m²で引き取り、製材、梁桁の天地を考えて棧の位置を合わせ、狂いが生じないように自然乾燥しているそうです。3ヶ月から半年、自然乾燥した材を「貫」「長ホゾ込み栓」という、伝統的な金物を使わない家づくりをしていました。人工乾燥、特に高温乾燥は「木の性質を殺している」として、施主からの要望があっても絶対に使わないように説得しているということでした。それだけにコストがかかるがそれを理解していただけるお客様を大事にしているそうです。

(協)スーパーウッディシステム(SWS)……設計提案を重視して、徳島の木を使った家造りをしているそうです。特にCADシステムにかなりの投資をして、坪いくらではなく、図面が確定したらすぐ、木拾いから見積りまで連動するようになっており、お客様の要望に合わせ、部材の変更や間取りを変更して、見積りをしなおしそうです。例えば、モジュール950で計画したが予算が足りないために間取りはそのまま、モジュールを900にしたらどうなるか等、即座に見積りして、できるだけお客様の要望をかなえられる提案をしているそうです。

「徳島すぎの家」ではこの他に、共同で「木の家クラブ」という会員組織を作り、植林ツアー、伐採ツアー、各種PR誌を発行しているそうです。また、いろいろな基礎研究も行い、各組合員のみならず、徳島すぎを扱う人に公開しているそうです。今回、我々も「徳島すぎスパン表」をいただきました。

鹿児島の場合はその辺がまだまだ足りないと感じました。

【情報】

木材価格が急上昇中です!

先月もお知らせしましたが、製品価格が急上昇中です。今までは製材工場が原木価格を負担する形で、上げ幅は小さかったのですが、2月位から15%～20%位上がった製品もあります。特にKD材は高くなっております。必要なものは早めに手配してください。

総合福祉フェスティバルINかごしま2007が開催されます

木製の介護用品や住宅の介護改修事例などが展示されます。

日時 平成19年4月11日(水)～12日(木) AM10:00～PM6:00

場所 鹿児島アリーナ メインアリーナ、多目的広場 (鹿児島市永吉1-30-1)

【定休日】

4月は1, 7, 8, 14, 15, 21, 22, 29日となります

5月は4, 5, 6, 13, 19, 20, 26, 27日となります

ご協力お願いします。

(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)

